

第 16 回血管腫・血管奇形 IVR 研究会

期 日：2019 年 5 月 31 日（金） 9:00～11:00

会 場：福岡国際会議場

プログラム：教育講演、症例検討ならびに一般演題

教育講演：外科から見た血管腫血管奇形 9:00～9:50（各 25 分）

座 長 井上 政則 先生 慶応義塾大学病院

演 者 尾崎 峰 先生 杏林大学医学部附属病院

演題名 『血管奇形病変に対する切除術』

演 者 佐々木 了 先生 国家公務員共済組合連合会 斗南病院

演題名 『外来での混合型血管奇形のマネジメント』

症例検討：3 症例 9:50～10:15（3 症例 1 題 8 分（発表 6 分 質疑応答 2 分））

司 会 大須賀 慶悟先生 大阪大学医学部附属病院

症例 1 長谷川 靖晃 先生 東京慈恵会医科大学病院

症例 2 北川 晃 先生 愛知医科大学病院

症例 3 作原 祐介 先生 国家公務員共済組合連合会 斗南病院

一般演題：血管血管奇形（血管腫・血管奇形 IVR 研究会、日本 IVR 学会合同セッション）

10:15～11:00（5 演題 1 題 9 分（発表 6 分 質疑応答 3 分））

座 長 三村 秀文 先生 聖マリアンナ医科大学病院

演者 1 西田 健二 先生 総合病院土浦協同病院 放射線診断科

演題名 「膀胱側腔 AVM に対する塞栓術前の血行動態把握

：流入動脈留置カテーテルからの Dynamic volume scan の有効性」

演者 2 小野沢志郎 先生 帝京大学 医学部附属溝口病院 放射線科

演題名 「静脈側塞栓により病勢をコントロールし得た脾臓周囲主体の高流量 AVM

および縦隔内低流量 AVM の 1 例」

演者 3 今井 茂樹 先生 総合南東北病院 総合血管内治療センター

演題名 「皮下軟部組織動静脈奇形に対するマイクロバルーン併用硬化塞栓療法の

治療成績」

演者 4 宇賀神 敦 先生 自治医科大学 放射線医学教室

演題名 「逆行性経静脈的塞栓が有効であった巨大骨盤動静脈奇形の一例」

演者 5 藪田 実 先生 聖路加国際病院 放射線科

演題名 「多発傍脊髄動静脈奇形と多発腎動脈瘤を合併した

Generalized Lymphatic Anomaly」